

第 56 回建築士会全国大会 しまね大会紹介

6) 島根の現代建築 4 石見地方

島根県は出雲・石見・隠岐の3地方に分かれます。県西部が石見になります。中心は浜田市、益田市です。藩政時代は支配者が違います。住人の気風も方言も違います。石見地方の建物の特徴の一つが赤瓦です。所謂席州瓦は赤い釉薬が特徴で、民家の屋根を赤く染めています。現代建築にも多く取り入れられています。益田市の県立芸術文化セ



ンターは別名「グラントワ」として親しまれています。ここでも赤い瓦のみならず壁にも大量の瓦を使った建物です。設計は内藤廣。益田のまち中にたたずむ一粒社ヴォーリス設計の教会です。津和野

には津和野出身の画家安野光雅の作品を



グラントワ内部



益田の教会

収蔵した安野光雅美術館があり、蔵造りの佇まいです。明治の文豪森鷗外も津和野の出身です。森鷗外記念館は宮本忠長氏の設計です。吉賀町は益田からさらに1時間近く南に下った町ですが、六日市温泉ゆらの建物は新居千秋設計です。浜田世界こども美術館は島根で多く設計している、高松伸の作品です。



安野光雅美術館



森鷗外記念館



左上: 浜田
世界こども
美術館



左下: 六日
石温泉ゆ
ら



六日市温泉 ゆら